

目的 酸化安定性（酸化防止性能）の評価

対象 潤滑油（主にタービン油）

分析項目 酸化安定度試験（RPVOT）（RBOT） JIS K 2514-3

試験結果 酸素を所定の圧力まで圧入し、圧力が下がるまでの時間が長いほど、酸化安定性は良好と判断できます。



RBOT試験

<試験条件>

試験温度：150℃（油浴） かき混ぜ：毎分100回転
 触媒：銅板 測定単位：時間（min）
 ガス吹込み：620kPa（酸素圧力）

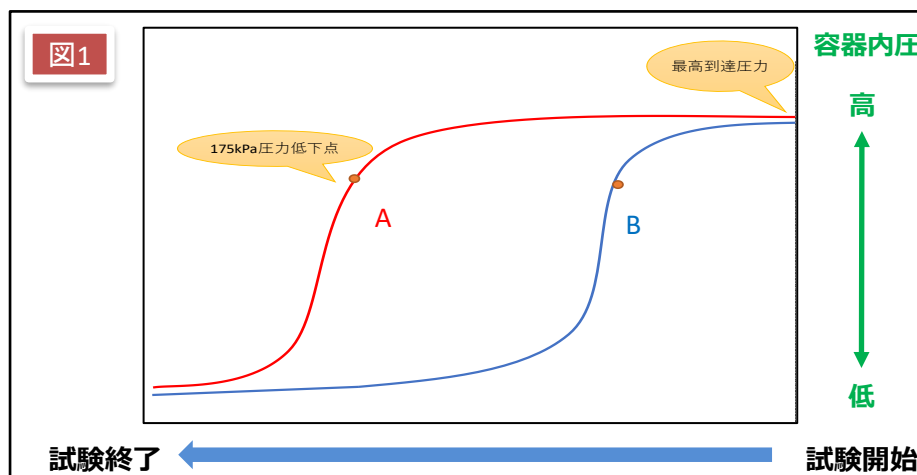


図1：最高到達圧、175 k Pa 圧力低下点(終点)等を確認し、終点までの時間を算出します。
 終点までの時間が長いほど、酸化安定性が良いと考えられます。(Aの方が良好)

<特殊な例>

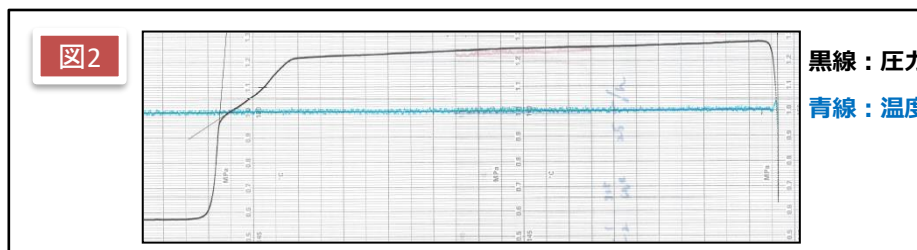


図2：175kPaの圧力降下が見られた後も試験を続け、急激な圧力降下が見られた点を終点とします。

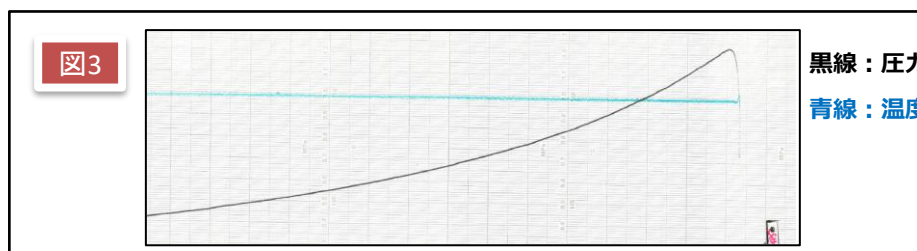


図3：175kPaの圧力降下が見られた後も試験を続けましたが、急激な圧力降下が見られませんでした。
 このような場合、結果は『測定不可』となります。

